

平成28年11月24日

西会津町議会活性化特別委員会  
委員長 荒海清隆 様

議会報告会第1班 班長 清野佐一

## 議会報告会（第1班）報告書

「町民と議会との懇談会」（第7回議会報告会）開催結果について、下記のとおり報告いたします。

### 記

#### 1・開催場所及び日時等

開催場所	開催日	開催時間	参加者
奥川みらい交流館	11月8日（火）	PM6：30～8：30	4人
町公民館	11月9日（水）	PM6：30～8：30	10人
梨平集会所	11月10日（木）	PM6：30～8：30	9人

自治区長出席者状況

奥川みらい交流館	なし
中央公民館	なし
梨平集会所	奥川地区自治区長会長 玉木 達雄

添付書類…出席者名簿

#### 2・出席議員（11月8日・9日・10日）

清野佐一・長谷川義雄・渡部 憲・猪俣常三・薄 幸一 【武藤道廣議長（梨平集会所）】

#### 3・実施内容

別紙のとおり。

## 1・奥川みらい交流館

### (1) 担当係

- ①受 付 薄 幸一
- ②進 行 渡部 憲
- ③開会あいさつ 清野 佐一
- ④説 明 長谷川義雄
- ⑤記 録 猪俣 常三

### (2) 議会報告に係る参加者からの質問等

①保育料の無料化だが、一部負担を保護者がすることも必要ではないか。

□回答：一般質問で質した内容では、町の見解として財源が毎年必要とする額が2,400万程度となる。町に対して、平成29年4月開所する認定こども園に合わせた子育て支援の充実を求めた。  
＜回答者 猪俣＞

※一部負担という町民の声に対して、回答しなかった。

②ふるさと納税について、町の取り組みが上手でないように思う。PRと返礼品に問題はないか。また、ふるさと納税が収入源とれば、保育料の無料化も可能にならないか。

□回答：他町村において、ふるさと納税を推奨しているところがある。本町においても推奨するよう再三一般質問で質している。  
＜回答者 清野＞

③出戸地内における農業用水路や側溝、林道の草刈作業等において、高齢化が進み労働力の減少が生じている。また、区間は①出戸集落の中心部から大出戸の県境まで②出戸集落の中心部から中ノ沢の檜山及び首頭工まで③出戸集落の中心部から山浦までとなっている。また、④中山間支払で運営しているが、機械操作もできる方がいなくなっている。したがって維持管理や農業に不安を抱えている現状である。農業の用水路修理に技術者がいないので、町の支援を求めたい。

□回答：このような地域が出てくると思われる。水・土・里事業の対応だけで解決できるものではないようだ。  
＜回答者 清野＞

□対応：経済常任委員会で調査

④奥川みらい交流館のプール跡地の整備について、駐車場とするならばアスファルトで整備してほしい。構想はどのようになっているか聞きたい。また、除雪ドーザー格納庫建設の話はどうなっているのか。

□回答：どのような構想になっているか、町に聞く。また、除雪ドーザー格納庫の建設の話も聞いてみる。  
＜回答者 清野＞

□対応：総務常任委員会で調査

⑤教育関係で、本町において中学校・小学校ができていて一貫校を推進してもよいのではないかと。  
□回答：本町では、中学校・小学校・H29年4月認定こども園（保育所）が開所になることから、  
連携なのか、一貫校なのか、幼保小・中連携教育等の調査検討をしている。

＜回答者 清野＞

⑥宮野地区において、空き家にサルが忍び込み住民が危険にさらされている。対策を求める。

□回答：鳥獣パトロールを実施し、サル・イノシシ・クマなどの捕獲や追い払い策など実施している。  
住民に危害を加えられないように早急に対策が必要と思われる。 ＜回答者 清野＞

□対応：既に町に申し入れた事項

### (3) 懇談会に係る参加者からの提言及び意見書等

①山浦地域では、田舎の農業体験の中で、都会の子供たちが作ったコメを「米寿米・喜寿米」などの商品で販売したいと取組んでいる。活力ある地域づくり支援事業の補助金の額をアップしてほしい。

□対応：経済常任委員会で調査

## 2・町公民館

### (1) 担当係

- ①受 付 薄 幸一
- ②進 行 渡部 憲
- ③開会あいさつ 清野 佐一
- ④説 明 長谷川義雄
- ⑤記 録 猪俣 常三

### (2) 議会報告に係る参加者からの質問等

①横町館跡の試掘と本調査の費用は。今後、補正等あった場合はどうするのか。

□回答：試掘は、費用として約1千万円。本調査については、H28年度は3千万円、H29年度は3千万円がかかる。県の文化財課の指導のもと行わなければならない。補正について発生すれば、負担はやむを得ないと思う。  
＜回答者 清野＞

②遺跡が出ないのに何故遺跡調査をしなければならないのか。

□回答：開発するために県の文化財課の指導によるもので、水路・穴等が確認されているので、継続して行っていく。  
＜回答者 清野＞

③調査などを行っているのに、新役場庁舎の改修工事が行われるのか。2億円もかけて耐震工事まで行ったのに、どうなっているのか。

□回答：議会で決議しているので改修工事は行われる。H29年度には発掘調査と並行してできる  
ところから実施していく。  
＜回答者 清野＞

④政務活動費は、議員としてもらっているのか。

□回答：本町の議会は、政務活動費についていただいていない。

＜回答者 清野＞

⑤セミナーハウスは、どういうものか。本町の運動施設を活用した誘客についての要望を前からしていたが、ようやく実現するのか。

□回答：宿泊施設（100人）での研修や交流の場として利活用が期待できる。＜回答者 清野＞

⑥公債費の利率は、どのくらいか。木質バイオマスとはどういうものか。本町に木質バイオマスをどのように生かすのか、また大変ではないのか。

□回答：利率は、5%以内である。木質バイオマスとは、燃料にするペレットの製造や菌床用のオガコ生産をするほか、発電や熱利用などさまざまな利用がある。本町では、木質バイオマスで雇用を生み出すために可能かどうか、調査を試みる計画である。＜回答者 清野＞

⑦H29年4月開所の認定こども園ができることから、幼保小・中連携は、どのように議会として考えているか。

□回答：現在、本町において、認定こども園の建設が進められている。議会においても幼保小・中連携について、総務常任委員会で調査を行っている。＜回答者 清野＞

⑧H27年度の一般会計をはじめ決算額の認定にあたっては、数字の問題がなければ監査委員の報告のとおり賛成するのが筋ではないのか。否決して何が得られるのか。

□回答：否決したからと言って、決算の数字に誤りがあったわけではなく、監査報告の内容に問題があったわけではないが、予算に計上された事業を実施する段階で問題があり、町政の停滞を招いたことで否決をした。＜回答者 清野＞

□回答：賛成した理由は、町民本位の予算執行であり監査報告のとおり問題はなく、健全な財政を見定めて補正で対処し、手続き上のことであり決算不認定には当たらないことから賛成した。＜回答者 長谷川＞

⑨議員報酬を3万円上げることに賛成するが、議員定数問題はどのようになったのか。説明してほしい。削減に賛成していないのはどのくらいいるのか。

□回答：H29年3月まで議会活性化特別委員会で議論をし、協議して結論を出すこととしている。

＜回答者 清野＞

□回答：また、最初は4人程度が賛成でしたが、最近では8から9人ほど削減に同調している。

＜回答者 渡部＞

⑩町長が代表監査委員と監査委員に対して「注意をした」との声があるが事実か。また、事実とすれば議会は対応しないのか。

□回答：町長から説明がなされないので、分からない。議会として対応できるところはする。

＜回答者 清野＞

□対応：監査委員事務局に調査依頼

### 3・梨平集会所

#### (1) 担当係

- ①受 付 薄 幸一
- ②進 行 渡部 憲
- ③開会あいさつ 自治区長 玉木 達雄  
議 長 武藤 道廣  
班 長 清野 佐一
- ④説 明 長谷川義雄
- ⑤記 録 猪俣常三

#### (2) 議会報告に係る参加者からの質問等

- ①H27年度の一般会計の決算額の認定にあたって、反対討論をしなければならない重大なことが起きたのか。

□回答：決算の数字を否定しているわけではない。新役場庁舎の移転を進める中で、校庭やプール跡等の敷地に横町館跡があり発掘調査のため、移転の計画が遅れた。また、道の駅「よりっせ」の隣りに建設された地域連携販売力強化施設の建設にあたって、基礎工事をする際、一部地盤の軟弱なところがあり工事の完成が遅れた。 <回答者 清野>

- ②かつて埋蔵文化財により縦貫道路で戸中となぎの平のルートが変更されたことを知っていたのか。いろいろあったが、決算不認定などはなかった。期別の多い武藤議員、清野議員知っているか。

□回答：知らなかった。 <回答者 清野・武藤>

- ③議会基本条例とか協働のまちづくりというが、機能していない。大事なものは、町と議会は両輪でなくてはならない。と思うが。

□回答：議会基本条例及び協働のまちづくりがあることで、町が良くなっている。町民の声を行政に反映していると思う。 <回答者 清野・武藤>

#### (3) 懇談会に係る参加者からの提言及び意見等

- ①小屋地区の「かたくりまつり」の現況として、協力金をいただく日には観光客が少なく、なかなか思うほどお金が入らない。観光客は、推測で100人くらいである。事業費は3年間で10万円～20万円で運営をしている。

#### ②有害鳥獣対策について

今年は、ドングリなど沢山なったが、クマ、イノシシ、サルは食べていない。実がそのままになっている。獣が餌を求めて出没してくる。狩猟の方に連絡するが、その間に獣はいなくなってしまう。悩みの種である。

□回答：町では、クマ・イノシシ・サルの巡回パトロールをして捕獲したり、花火などで追い払いをしたりしている。 <回答者 清野>

□対応：既に町へ申入れした事項

③空き家対策について

空き家にサルが入り込んでおり、どうにかならないか。空き家の家主に対する取り壊しなど、対策はどうすればよいか。

回答：非常に難しい問題であり、対策は必要と思われる。 <回答者 清野>

対応：空き家対策については総務常任委員会で調査検討  
有害鳥獣対策については経済常任委員会で調査検討

④後継者問題について

婚活で出会いの場を提供している。同じような取り組みであり、参加者もマナー化しているのではないか。

回答：町は、業者に委託して婚活事業をしている。効果は出ているようである。

<回答者 清野>

⑤自治区内の人足不足について

高齢化が進み人手不足が集落内の作業に大きく響いている。作業が出来なくなっている。大きな悩みである。シルバー人材に委託すれば経費が大変である。支援などの対策をしてほしい。

回答：同じ悩みの自治区があり、難しい問題である。 <回答者 清野>

対応：経済常任委員会で調査検討

⑥除雪対策について

自治区内において生活道路が一部低く、かさ上げをして平らにすべき箇所がある。除雪の際に作業がしにくく、道路の表面を損なう状況にある。

回答：今、除雪対策基本計画を策定し説明会をしている。また道路調査をするため本年度に予算化しているので、調査が行われる予定である。 <回答者 清野・武藤>

対応：経済常任委員会で調査検討

⑦ひとり暮らしの雪片付けは、助け合うように認識しているが、一人暮らしでも町外に住んでいる子供がいる家庭まで雪片づけをするのが悩むところである。作業する人も高齢になっていることから難しい。

回答：一人暮らしの高齢者を支えることが重要である。 <回答者 清野>

平成28年11月24日

西会津町議会活性化特別委員会

委員長 荒海清隆様

議会報告会2班 班長 青木照夫

### 議会報告会（第2班）報告書

「町民と議会の懇談会」（第7回議会報告会）開催結果について、下記の通り報告いたします。

#### 記

#### 1. 開催場所及び日時

開催場所	開催日	開催時間	参加者
宝川集会所	11月8日(火)	18:30~20:28	男性 10人 女性 1人 合計 11人
保健センター	11月9日(水)	18:30~20:09	男性 6人 女性 人 合計 6人
下小島集会所	11月10日(木)	18:30~20:30	男性 11人 女性 2人 合計 13人
新郷連絡所	11月14日(月)	18:30~20:03	男性 3人 女性 人 合計 3人

□自治区長出席状況 宝川集会所 宝川区長 佐藤新一  
保健センター なし  
下小島集会所 なし  
新郷連絡所 薄 俊一 五十嵐隆二

□添付書類…出席者名簿

#### 2. 出席議員 青木照夫 伊藤一男 三留満 三留正義 (新郷連絡所会場 武藤議長)

#### 3. 実施内容

別紙のとおり。

## 1. 宝川集会所

### (1) 担当係 (今回担当は固定)

- ①受 付 三 留 満
- ②進 行 伊 藤 一 男
- ③開会あいさつ 青 木 照 夫
- ④説 明 伊 藤 一 男
- ⑤記 録 三 留 満
- ⑥書 記 事 務 三 留 正 義

### (2) 議会報告会に係る参加者からの質問等

①一般質問において普通に窓口等で聞くことができるようなことを質問しているのは好ましくない。また、十分に追跡してほしい。

回答…なし。

対応…議会への要望なので、議長から全議員に意見のあった内容を通達・周知そして研修するなど何らかの手立てをとることが望まれる。(品位や質の向上)

### (3) 懇談会に係る参加者からの提言及び意見等

①デマンドバスについて同一料金化ができないか

回答…質問の内容について調査してお知らせる。(青木)

対応…総務常任委員会付託

②デマンドバスの空席の利用はできないのか(運行途中での)

回答…過去の要望・提言・一般質問などを精査してから要望したい。(青木)

対応…過去に説明を受けた記憶があるので、総務常任委員会で内容を調査把握してから対応を決める。

③町のケーブルテレビのデータ放送で過去のデータ(お知らせ)を見ることができるようできないか

回答…過去の要望・提言・一般質問などを精査してから要望したい。(青木・伊藤)

対応…総務常任委員会付託

④スパークに停留所を設けてほしい。大会開催時に移動が大変である(特に冬期間)

回答…要望の性質を十分検討して提言(一般質問を含み)・要望に結びつけたい(青木)

対応…総務常任委員会付託

⑤昼休みの役場窓口対応で、担当者や話が分かる職員がすぐに対応してほしい。また、窓口周辺の照明をもう少し明るくしてほしい。

回答…現状の実態を調査・確認し改善要望としたい。(青木)

対応…総務常任委員会付託

## 2. 保健センター会場

(1) 担当係については宝川会場に同じ

(2) 議会報告会に係る参加者からの質問等

① 決算を認定しなかったとあるが、その後の影響はどのようになるのか。

回答…特に影響はない。(青木)

② 決算の認定とはどのようなことなのか

回答…議員必携記載の決算認定制度について説明(三留正)

(「行政効果の客観的判断と、今後の改善や反省事項の把握と活用」の概要)

(3) 懇談会に係る参加者からの提言及び意見等

① 再生可能エネルギー関連で、木質バイオマス等の進展状況等について、議会ではどのように把握しているのか。

回答…本町の取り組みと阿賀町の取り組みについて説明。(伊藤)

最上町(経済常任委員会の管外視察)の取り組みなどを説明。(三留満・伊藤)

(経済常任委員会の研修内容(成果)などを含み、距離感を詰めた懇談ができた)

② ウォーキング中に観光客らしい方に国際芸術村を尋ねられることがある。そこで、国際芸術村への道案内を充実させてほしい。「三カ国語」「大きな案内板」「適正設置箇所(数)」などきちんと整備してほしい。

回答…現状を確認し過去の要望・提言や一般質問と調整して要望としたい。(青木)

対応…経済常任委員会付託

③ 新規就農者の受け入れについて、現状とこれからのサポートのあり方を考えているか。

回答…冬期間の農家収入の確保などを見据えた、菌床と複合の経営などを軸に薦めていくことになると思う。(三留満議員を中心に)

(具体的に新規に就農されそうな方があることから、未来に向けた活発な懇談ができた。)

## 3. 下小島集会所

(1) 担当係については宝川会場に同じ

(2) 議会報告会に係る参加者からの質問等

① 決算が不認定の影響はあるのか。不認定の議決をしたということなのか。

回答…7. 議員必携記載の決算認定制度について説明(三留正)

(「行政効果の客観的判断と、今後の改善や反省事項の把握と活用」の概要)

イ. 認定と議決の違いについて説明(三留正)

②経済常任委員会調査報告にある樋ノ口の危険個所の改善がなされたとあるが、その下に上・下小島の農用水路があるが法面の砂利が入って塞がらないか不安があり解消できないか。

□対応…来春の状況を受けてから対策や方針を決定されてはいかがでしょうか。（三留正）

③婚活について年齢を問わず独身者であればもっと活発・積極的に婚活事業をできないか

□回答…メンタル面（恥ずかしさ）などいろいろな面を考慮して、町主催から業者委託で事業を展開することとした。（三留正）

④ふるさと応援寄附金の広報はしているのか。今後の見通しについてはどうか。

□回答…広報の方法や本町のミネラル野菜、米などを中心に全員で議論

### (3)懇談会に係る参加者からの提言及び意見等

①町直営の除雪路線は民間委託の路線と稼働回数や稼働開始時間に格差があり過ぎるので、除雪対応を改善してほしい。（過去に度々建設課に直接訴えたが改善されない）

□回答…現在、町では雪対策基本計画を策定中であるが、要望の性質や過去の経緯などを精査して、除雪体制の標準的で適切な運用を要望したい。

□対応…経済常任委員会付託

### (4)その他

①振興公社：ロータスインの接客対応が決まるとはいえない。もっと企業として規律・統制を執って運営ほしい。（参加者のほとんどが同様の意見であった）

## 4. 新郷連絡所

(1)担当係については宝川会場に同じ

(2)議会報告会に係る参加者からの質問等

①樟山バイパスと国際芸術村入口付近の整備状況はどうなっているのか。

□回答…共有地等の土地絡みの概況などを説明（武藤）

(3)懇談会に係る参加者からの提言及び意見等

①新村までの道路の消雪計画は近年実行になるような情報はないか。

□回答…県道でその進捗については不明である。

経済常任委員会の研修地の雪対策や本町の主な自治区などを例として現況と問題を共有する議論で質問時間の大部分をこの問題に費やした。

②運搬排雪を頻繁にする方向を検討してはどうか。

□回答…12月の全員協議会や定例会で、町の除雪基本計画を受けて議論していきたい。

（武藤）

※やはり雪対策が本町の第一課題と言っても過言ではないようであった。

③新郷地区は議会懇談会の参加が少ない傾向であるが、ほかの状況はどのようなものか。

□回答…全体の実施内容の説明。

議会懇談会の直面する課題として、参加される方の年齢や職種・性別・地域性などで偏りが見られる傾向は認識している。これらを踏まえ実施時間・会場・広報の在り方などさらに研究・検討する。（武藤）

④国際芸術村の取り組みがより専門的に進展しているように伺えるが、地元地域との関係が希薄に感じる。さらに充実・拡大していくためには、地元地域との相互理解が必要ではないか。

□回答…国際芸術村と地元地域のコーディネートや町全体への説明・周知について整理して町に提言したい。

□対応…経済常任委員会付託

以降、農業振興の今後について議論し時間終了を迎えた。（対策の急務については全員一致した認識であった）

※議長の説明を基軸に議論展開とした懇談スタイルであった。

平成28年11月24日

西会津町議会活性化特別委員会  
委員長 荒海 清隆 様

議会報告会第3班 班長 多賀 剛

### 議会報告会(第3班)報告書

「町民と議会との懇談会」(第7回議会報告会)開催結果について、下記のとおり報告いたします。

#### 記

#### 1. 開催場所及び日時等

開催場所	開催日	開催時間	参加者
堀越集会所	11月 8日(火)	18:30~20:20	男性… 4人 女性… 2人 計… 6人
柴崎集会所	11月10日(木)	18:30~20:15	男性… 8人 女性… 0人 計… 8人

自治区長出席者状況  
堀越集会所 堀越自治区長 斎藤 俊二  
柴崎集会所 柴崎自治区長 佐藤 清治

添付書類…出席者名簿

#### 2. 出席議員

多賀 剛 荒海 清隆 小柴 敬 秦 貞継 【武藤 道廣(堀越集会所)】

#### 3. 実施内容

別紙のとおり。

## 1. 堀越集会所

### (1) 担当係

- ① 受付 秦 貞継
- ② 進行 多賀 剛
- ③ 開会あいさつ 武藤 道廣 多賀 剛
- ④ 説明 荒海 清隆
- ⑤ 記録 小柴 敬

### (2) 議会報告に係る参加者からの質問等

#### ①平成 27 年度一般会計決算不認定について

町政を司る町長と議会が、不認定などという結果を出さない方法はなかったのか。

試掘をしている中での結果としてもみっともないと感じた。

町のイメージアップに対して、いい方向を示してほしい。

- 回答…プールの解体撤去の際、文化財埋蔵箇所であるため県の許可及び委員の立ち合いが必要であったが、立ち合いのないまま解体してしまった。説明を求めた際、担当課によるごまかしがあり、説明に対して、議会軽視も甚だしく感じた。  
また、責任の所在が明らかにされなかったことも不認定の要因である。今後は、町と議会がよく話し合って良い方向で対応したい。  
＜回答者 武藤議長＞

#### ②専門知識を持った職員の採用について

専門知識を持った技術職の職員採用が求められるが、対応はどの様になっているか。

- 回答…次年度も職員採用はするが、技術職の職員採用は現時点で伺っていない。専門知識を持った職員の採用は急務と考える。  
＜回答者 多賀＞

#### ③説明の中にあつた、シルバータウン化について伺う。

- 回答…一昨年、群岡地区での提案で、老人福祉に特化した町づくりが生き残り策と考える提案がされてきた。都会の老人を福祉の町として受け入れることに対しては、はなはだ疑問に感じる。  
＜回答者 多賀＞

#### ④婚活について伺う。

- 回答…前回まで 200 万円だった予算が今年 400 万円と倍増した。商工観光課が担当している。これまでの結果は、2 組のカップルが誕生した。  
今年度は、商工観光課が他の業者に委託しているため、報告は受けていない。地元開催により、参加者が西会津町をより理解していただける機会なので、担当課に対し、町民からの提案事項として伝えたい。  
＜回答者 多賀＞

### (3) 懇談会に係る参加者からの提言及び意見等

#### ①地域活性化について

地区内で、ばかになって取り組む人がいなければ、活性化の実現は困難と考える。自治区内での人材確保が重要と考える。

- 回答…まつりや盆踊りの継続が地域活性化の原点と考える。  
＜回答者 多賀＞

#### ②若者の働き場の確保について

町内に、若者の働き場が無い。定着できる仕事の場が望まれる。

- 回答…企業誘致に対する思い切った対策が望まれるが、企業側でも若者がいない地区に対しては誘致に消極的である。  
最近、地域おこし協力隊が地元の起爆剤になっている。  
少数ではあるが、若い専業農家が菌床キノコや、耐雪型ハウスを利用した通年栽培に積極的に取り組んでいる。  
＜回答者 多賀＞

③きめ細かな今後の町の対応についての提言

あまりきめ細かな町の対策は、外部の子供たちの帰省等に歯止めとはならないか心配である。帰ってみようかなという気持ちにさせる対応策も考えてほしい。

至れり尽くせりについては、いかがなものかと疑問に思う。(回答不要)

④福祉に対しての高齢者からの発言

もうすぐ 80 歳を迎えるが、自分の若い時代は障がい者等に対する対応がなされていなかった。いまや大きく改善され、町の保健師に対しては感謝している。何かなくても、保健師が訪問してくれる。

⑤共有財産についての提言

総務省のホームページでも記載されているが、今後の対応として、各集落における共有財産について調査し、共有地問題の改善について研究していってもらいたい。(回答不要)

## 2. 柴崎集会所

### (1) 担当係

- |          |       |
|----------|-------|
| ① 受付     | 秦 貞継  |
| ② 進行     | 多賀 剛  |
| ③ 開会あいさつ | 多賀 剛  |
| ④ 説明     | 荒海 清隆 |
| ⑤ 記録     | 小柴 敬  |

### (2) 議会報告に係る参加者からの質問等

①平成 27 年度決算において、すべてが黒字決算となっているが、地区住民からの要望事項等に  
対応もせず、意味不明の繰越ではないか。

□回答…平成 27 年度一般会計の総括質疑において、黒字にこだわらず、必要な事業については  
金を使うべきだと、質問と同様の考えを述べた。次年度についても、質疑の中で、質し  
ていきたい。 <回答者 多賀>

②黒字となったお金の活用方法について伺う

□回答…繰り越したお金は、一旦、財政調整基金に積み、必要になったときに取り崩して活用す  
る。また、財政調整基金は、標準財政金額（西会津町は、約 36 億円）の 10%程度必要  
とされているが、我が町はその 3 倍蓄えがある。 <回答者 多賀>

③平成 27 年度一般会計不認定について

※堀越自治区での質問と同様の為、省略する。 <回答者 多賀>

④不認定に対する結果報告はないのか。

□回答…予算執行後の不認定の為、事後の処理等何も無いが、結果について、執行部で真摯に受  
け止めて、今後の行政に反映して欲しい。 <回答者 多賀>

⑤不認定の事実を行政側がどのように反省の意思をもって受け止めるか、現在のところそれが  
ないように思われる。議会側から、ペナルティ等を決める必要はないだろうか。(回答不要)

⑥平成 27 年度一般会計決算不認定とし、町長の仕事ぶりを認めなかったわけであるが、予算  
や、補正等について議会はチェックしてきたわけである。町長に責任を押し付けるのではなく  
議会にも責任があると思う。(回答不要)

⑦国際芸術村について伺う。

車の乗り入れ等管理が徹底していないため、グラウンドが非常に荒れている。今後の予定は。

□回答…玄関先については、今年度中に舗装される予定である。芸術村の充実については、経済常任委員会で検討していきたい。年間 4,000 人もの交流人口が訪れている。

<回答者 荒海>

⑧秦議員の一般質問にあった「非常勤や特別職の報酬アップ」について伺う。

□回答…平成 18 年から消防団員や特別職等の報酬が上がっていないので質問したが、今後の行財政改革の中で検討するとの答えだけで、その後について行政からの報告は受けていない。

私個人的な考えではあるが、区長手当などは、地区住民が点在する行政区と、野沢等の地区での基本的な報酬が同じであり、戸数割の加算については、広範囲に含みを持たせた独自の対応も考えてほしい。

<回答者 秦>

(3) 懇談会に係る参加者からの提言及び意見等

①地域活性化について（意見）

「若者の働く場の確保」が絶対条件である。この地区（柴崎）では年寄りしか残っていない。時間の問題ともいえる。

②空き家対策について（提案項目）

以前アンケート調査を実施したと思うが、結果が流れてこない。防犯や消防等の面が悪化してきている。活用可能な空き家に関しては特に問題はないが、倒壊の恐れがある空き家については早急な町の対応を望む。（法的手段を含む）他町村においては、危険で倒壊の恐れのある空き家について、黄色いテープを張って告知しているところもある。

□回答…西会津全域において、倒壊等の恐れのある家屋が増えつつあるようだ。空き家調査については、地域おこし協力隊が取りまとめを実施しており、詳細な報告を待つて対応を検討したい。

<回答者 多賀>

□対応…総務常任委員会で調査検討

③保育所や学校等一か所に整備したが、それによる地域の減衰や弊害もあると思う。

効率のみの行政であってはならないと考える。（意見）

④現在の町内は、平成 27 年度の国勢調査の結果を元に区長への配布物等に反映されているが町独自に年一回ぐらい各家庭の調査（人数・家族構成等）を実施してはどうか。

プライバシー侵害に抵触する可能性はあるが、町職員が積極的に自治区との交流を図って欲しいと考える。（提案項目）

□回答…他町村においては、自治区出身の職員等が担当になり、相談役として対応している所もあるようだ。持ち帰って、活性化委員会の中で検討していきたい。

<回答者 多賀>